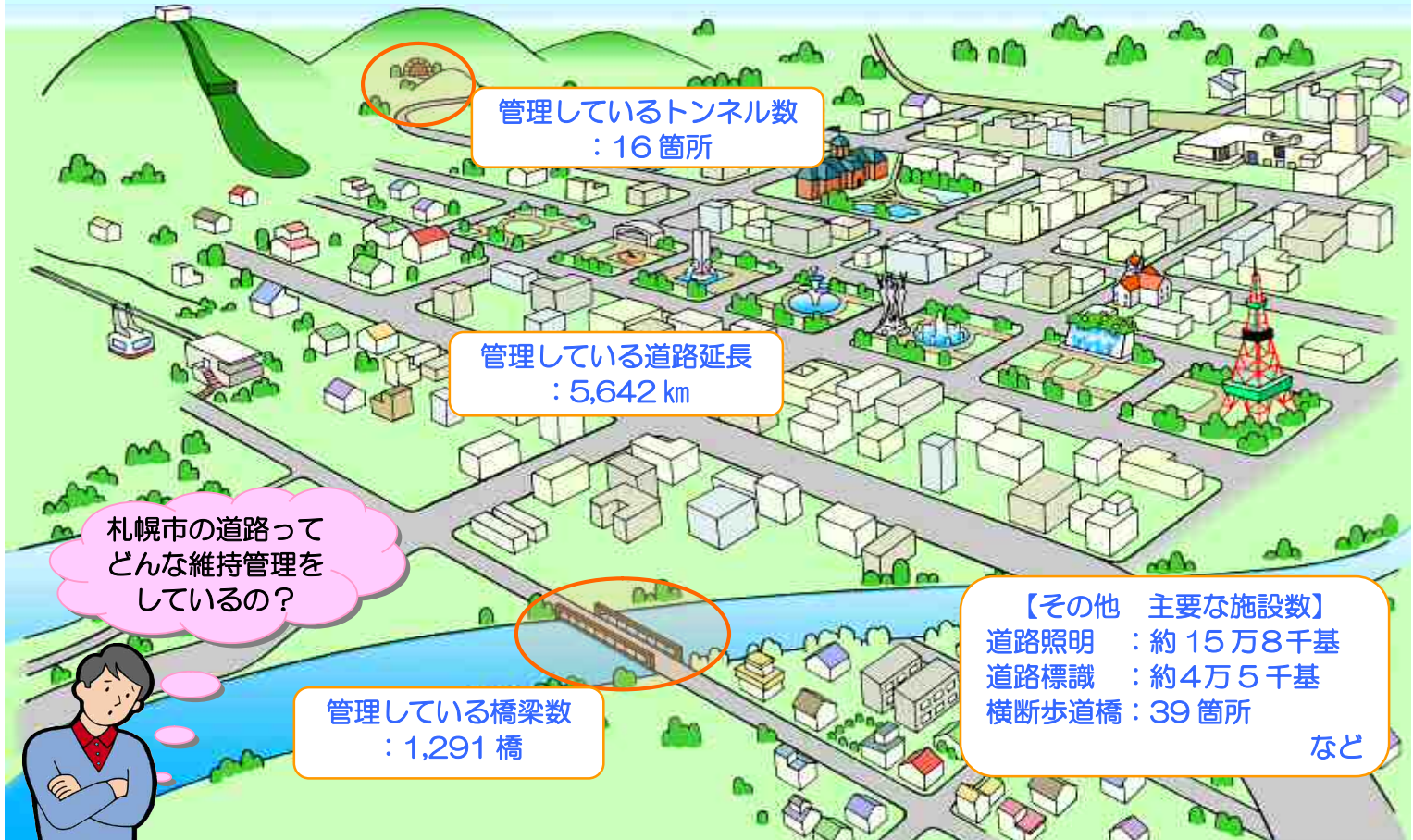


道路は、地域生活や社会経済活動を支える社会基盤として重要な役割を担っています。

札幌市道路維持管理基本方針【概要版】

～守ります！想いを伝える「さっぽろのみち」～



道路の維持管理

日常パトロール

道路上の異常や損傷、障害物等の危険を発見し、安全確保に努めています。

日常パトロール



点検

橋梁やトンネル設備等は、定期的な点検で、損傷状況や損傷の兆候を把握しています。

トンネルの設備点検



橋梁点検



補修・更新

舗装や橋梁等が安全に通れるよう、損傷部分の補修や老朽化した施設の更新を行っています。

橋梁の架替え(更新)



舗装路面の補修

日常的な維持

安全・安心・快適に道路を利用できるように、路面の簡易補修や清掃、除草、道路照明の電球交換など、日常的な維持を行っています。

舗装路面の簡易補修



道路清掃



電球交換



道路の維持管理を怠ると、路面の陥没や橋の崩落などで、渋滞や事故をまねき、日常生活に大きく影響します。

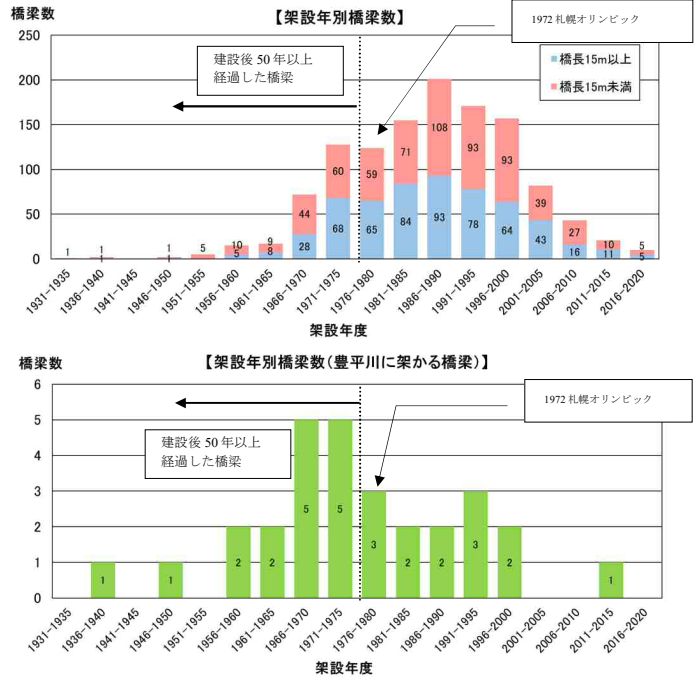
札幌市では、皆さんが安全・安心に道路を利用できるように、こうした維持管理を行っています！



道路維持管理を取巻く現状と課題

道路施設の現状（橋梁のケース）

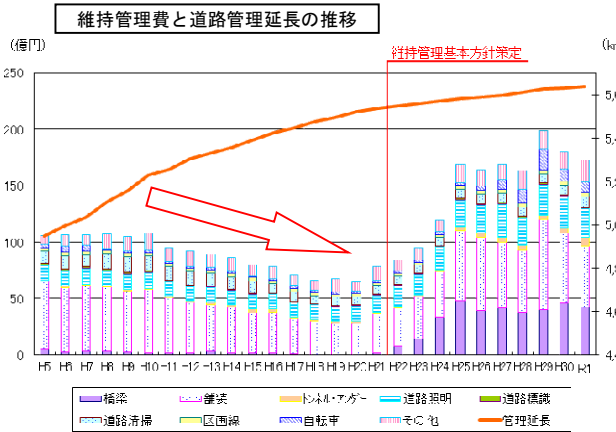
- ◆札幌市は、急激な人口増加による市街地の拡大により、道路整備が進みました。
- ◆右のグラフは、橋梁が架けられた年度を5年ごとに集計したもので、上図が市で管理する全体の橋梁、下図がその内、豊平川に架かる橋梁です。
- ◆市内には、現在 1,291 の橋梁があり、とりわけ、豊平川に架かる橋梁は、冬季札幌オリンピックに集中して架けられました。
- ◆建設から 50 年以上経過し高齢化を迎えた橋梁が増えており、劣化や損傷等による補修や更新による負担の集中を避ける必要があります。



維持管理を取巻く環境

維持管理費の傾向

- ◆厳しい財政状況の中、維持管理費は平成 10 年度をピークにその後の 10 年で約 6 割まで減少したことを受け、計画を策定し財源確保に努めているが、舗装補修の先送りなど、適切な維持管理が難しい状況になっています。



これまでの取組み

- ◆このような状況を踏まえ、札幌市では平成 22 年に「札幌市道路維持管理基本方針」を策定、さらに施設毎の個別計画を策定し計画的な維持管理を行ってきました。加えて、蓄積されたデータ等を反映し個別計画の改定を行うことで取巻く環境に柔軟に対応してきました。



道路維持管理の課題

①老朽化が進む道路施設への適切な対応

急激な人口増加等で整備されてきた多くの道路施設は、近年、高齢化に伴い、劣化や損傷が現れてきています。これらに適切に対応し、将来にわたり、道路施設の機能を維持し、安全を確保することが必要です。

②計画的、効率的な維持管理手法の構築

道路の維持管理に投資できる財源は大幅に減少しています。こうした中、膨大な量の施設の補修・更新需要に対応していくためには、計画的・効率的な維持管理手法を構築していくことが必要です。

③市民ニーズの把握と維持管理への反映

維持管理に関する情報を積極的に市民に発信するとともに、市民からの意見や要望を適切に把握し、市民ニーズに即した維持管理を進めていきます。

道路維持管理の取組み

基本方針（新たな維持管理への取組み方針）

基本的な考え方

長期的な視点に立って、ライフサイクルコストの最小化や、事業の平準化等による継続的な事業執行を確保するなど、計画的・効率的な維持管理を実現していきます。

実現に向けた4つの視点

I 長寿命化の推進

橋梁などの大型構造物や劣化予測が可能な施設については、施設の長寿命化を推進し、既存ストックの有効活用を図ります。

II ライフサイクルコストの縮減

施設の規模や構造などの特性に応じて、最適な補修工法や時期等を定め、ライフサイクルコストの縮減を図っていきます。

III 事業の平準化

事業効果の検証や計画の見直しなどを適宜行い、中長期的な予算や事業の平準化に努めていきます。

IV 市民ニーズの反映

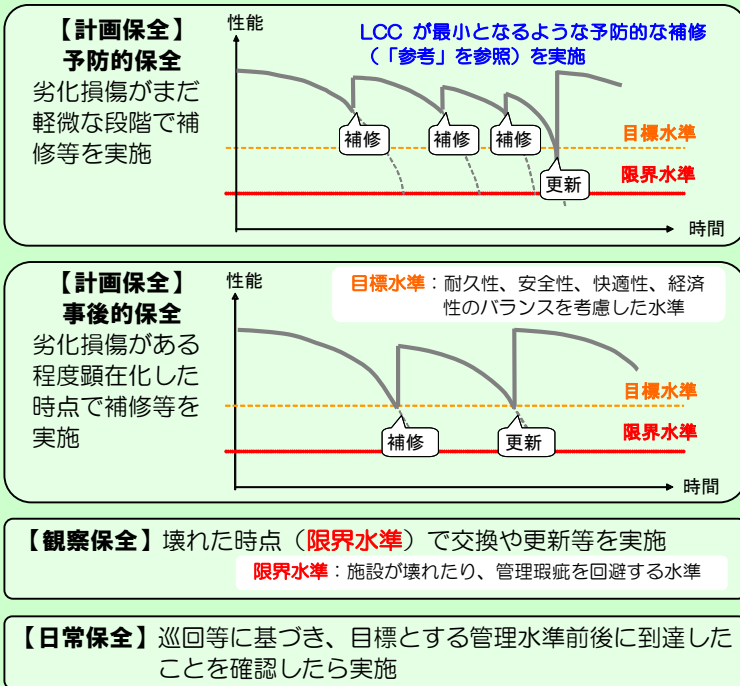
市民等への情報提供を進め、透明性の向上を図るとともに、市民ニーズや社会的な要請を的確に捉え、維持管理行政に適切に反映していきます。

具体的な取組み

1. 計画的・効率的な維持管理手法の確立

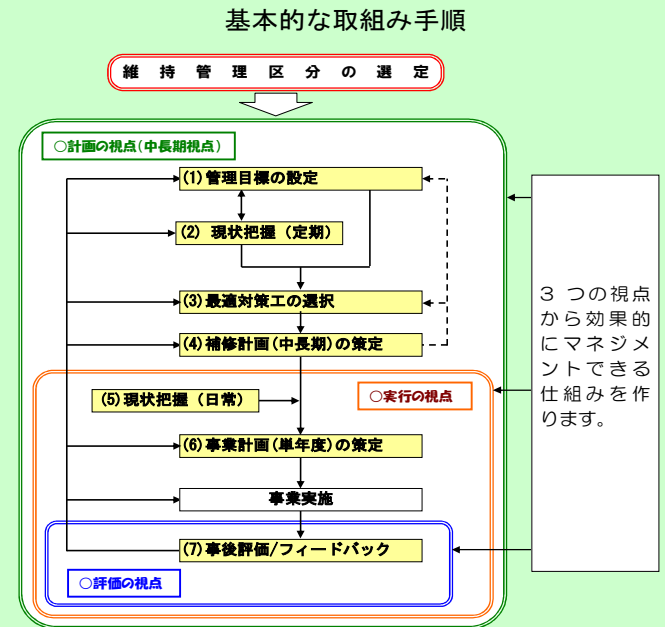
○施設特性に応じた維持管理区分

◆施設や材料の特性等に応じて、最適な維持管理区分を行います。【ライフサイクルコスト（LCC）…企画・設計から建設、供用、補修、更新までの全期間に要する費用のこと】



○基本的な取組み手順の構築と実践

◆計画、実行、評価の視点で、以下の基本的な取組み手順に従い、実践します。

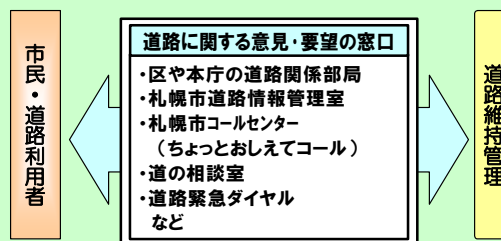


2. 実践に向けた環境の構築

◆計画的かつ効率的な維持管理を推進していくため、情報活用や人材育成、調査研究に取り組むとともに、市民の皆様のニーズを把握し、維持管理に適切に反映していきます。

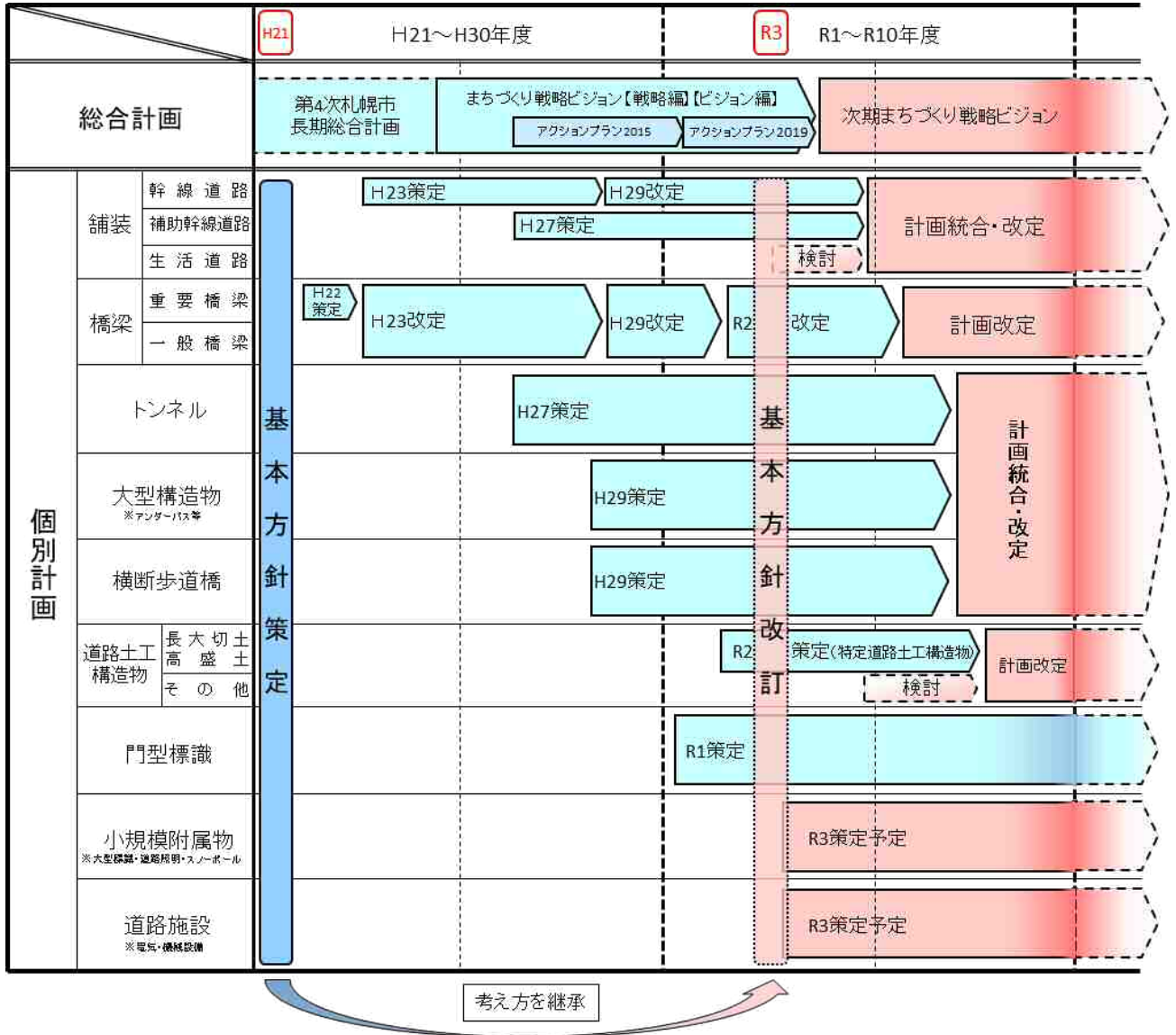
- 維持管理データの整備・活用
- 技術の向上・人材の育成
- 市民との連携・協働の推進

市民ニーズの把握と反映イメージ



今後のスケジュール

・ 今後は、蓄積した点検結果等の情報を活用し、さらに施設の撤去・機能集約の検討などを踏まえた個別計画の改定・統合を行っていきます。加えて今後必要な個別計画を作成していきます。



【参考】・・・（計画に基づくこれまでの維持補修事例）

○橋梁の維持補修事例

・ 維持管理レベルに応じて計画的に塗装替・橋面補修等を実施。



この基本方針は、市民や道路利用者の皆さまに、安全・安心で良好な道路サービスを、将来にわたり継続して提供していくための取組方針です。 札幌市建設局土木部道路維持課 令和3年4月改訂